



湾岸・アラビア半島地域ニュース

サウジアラビア：インフレ率の上昇

(8月4日付アラブニュース紙)

1. 経済企画庁中央統計局によれば、食料品及び住宅コストの上昇により、サウジの6月のインフレ率は、過去30年で最高の10.6%を記録した。5月は10.4%であった。サウジ国営通信(SPA)は、経済企画庁中央統計局の報告を引用しつつ、消費者物価指数は5月の115ポイントから6月には115.5ポイントに上昇したと報道。
2. 6月の食品・飲料コストは15.8%に上昇し(5月は15.1%)、賃料、電力、水を含む賃料指数も18.7%に跳ね上がった。
3. 歴史的に、サウジは他国比べてインフレを上手に操ってきた。過去20年間のインフレ率は1~2%程度に留まっていた。現地主要銀行の一つSambaは、08年のインフレ率は11~12%となると予測している。食料品と賃料が直近のインフレ要因である。サウジにとって重要な食料品は米だが、生産国の不作と輸出制限により価格が上昇している。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799